

SCA NEWS

VOL-8 No. 11

1988. 11. 1

(通巻 第 78号)

定期購読料 700円/年

埼玉県サイクリング協会 〒336 埼玉市岸町3-17-42 埼玉県青少年会館内 TEL/FAX.0488-24-2711

年末懇親パーティのご案内

各グループ間の交流と会員相互の親睦をはかり、年間の反省のもと新年の躍進を目指すことを目的とした恒例の SCA 年末懇親パーティが下記の通り開催されます。会員各位の参加をお待ちしています。

日時 昭和63年12月 3日(土)

午後 7時00分～9時00分

会場 “砂場” 越谷市南越谷4-6 新越谷駅西口(南越谷)

TEL 0489(85)7460

会費 会員 5000円

非会員 5500円

定員 40名

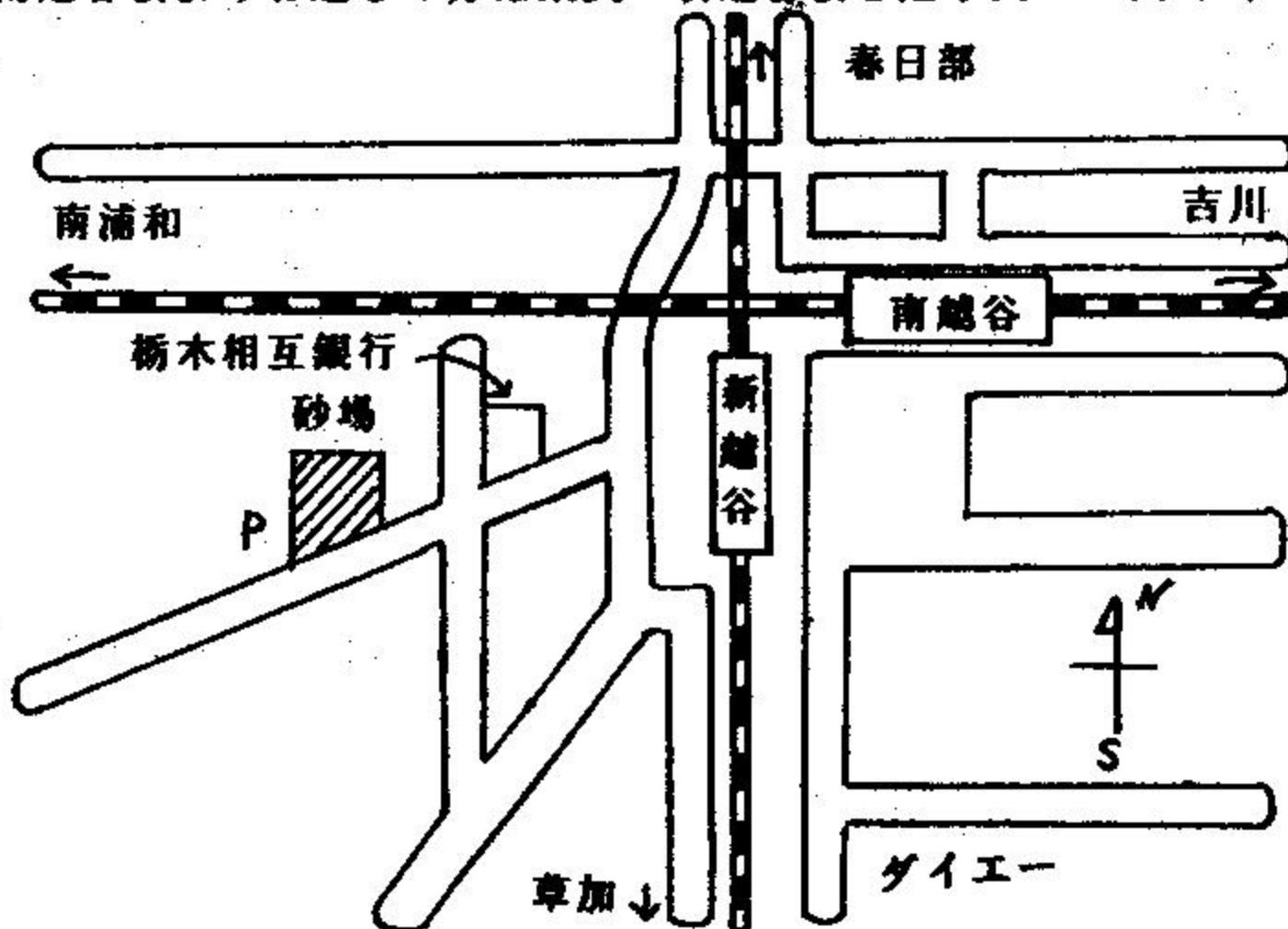
主管 県東支部(カワセミCC)

申込 協会事務局か日比谷宅へ11月25日までに申し込んで下さい。

*日比谷宅 TEL 0489(62)4638

その他 問い合わせは事務局まで。

南越谷駅よりお越しの方は東武の新越谷駅を通り西口へ出てください。



S C A ラ リ 一 終 了

第30回埼玉県サイクリングラリーが去る10月23日（日）、浦和さぎ山記念公園を主会場にして開催された。この地はかつて鶯が多数生息していたが、モタリーゼーションの波には勝てず、いつのまにか姿を消してしまった悲しい思い出の残る地である。

10時に集合した参加者は受付を済ませ開会式に臨んだ。星野副会長、川瀬秘書（浜田会長代理）の挨拶に続き渡邊理事長、日比谷理事から参加上の注意が行われた。

11時、参加者はサイクリングとパズルランの2班に別れそれぞれ出発した。サイクリングはさぎ山記念公園→元荒川→東岩槻→慈恩寺→七里→さぎやま記念公園(28km)、パズルランは浦和ふるさとめぐり(10km)である。秋の日差しがふりそそぎサイクリングには最高の天気になり、のんびりサイクリングを楽しむ人。パズルランの指定場所が見つからず、あちらこちら走り回る人といろどりどりであった。

両部門の参加者とも午後2時過ぎには出発地に帰着し、芝生で寝ころんだり、だべりんぐでひと時を過ごす。こんなのんびりしたサイクリングは久しぶりである。もっと多くの人にボタリングの良さを味わってもらいたいものだ。



< J C A・都道府県協会 >

中央指導者講習会

昭和63年度の中央指導者講習会が11月25日～27日、生産性研修会館で開催されますので、参加を希望する方は事務局まで申し込んで下さい。

期日 昭和63年11月25日（金）～

27日（日）（2泊3日）

会場 生産性研修会館

参加資格 普及指導者2-1：年齢25

才以上の資格を有し下記に該当するもの ①協会の運営ならびに諸行事の企画・実施に協力するもの。②職域及び学校のサイクリングクラブ等において指導にあたるもの。③その他各支部協会並びにJCAが特に認めたもの。

定員 80名（各県2名以内）

参加料 4,000円

申込 参加申し込み書に必要事項を記入の上、11月10日までに所属協会に申し込む。

内容 ★普及指導者の性格と任務

★サイクリング用車の基礎知識

★体力づくりとサイクリング

★正しい乗車姿勢の必要性

★サイクリングと組織づくり

★研究討議

★小論文

日程 第1日 12:30～13:30 集合・受付、14:00～講義、第2日 講義・研究協議、第3日 講義、昼食後解散

その他 問い合わせは事務局まで

<関係諸団体>

○埼玉県青少年育成県民大会

日時 昭和63年11月11日(金)

14:00~16:30

会場 大宮パックシティ小ホール

内容 開会14:00、青少年育成埼玉

県民会議表彰14:15、少年の主張

埼玉県大会入賞者意見発表14:30

記念講演「世界の子ども日本のお子ども一育て方しつけかたー」

14:50、大会宣言16:25、閉会16:30

「インフォメーション」

△ホテル南郷荘オープン

浦和CCのチャレンジサイクリングでおなじみの福島県南郷村にすばらしいホテルがオープンしました。

夏は伊南川でのアユ釣り、秋は紅葉、冬はスキーと多目的に利用できます。

収容人員 21室、81名

料金 大人6,500 子供5,500:1泊2食
浦和市外の方は1,000増

交通 車=浦和IC→宇都宮IC→鬼怒川→会津田島→南郷村(約4時間)

鉄道=大宮→春日部→会津高原→(バス) 南郷 (約5時間)

その他 予約は市役所サービス課

Tel.0488-33-0411 EXT2131,2132

△県民の日施設は無料開放

11月14日は県民の日です。県施設が無料公開されるのでおおいに利用しましょう。

△自転車関係番組放映案内

11月 7(月)NHK総合TV 7:30~8:00

トライアンドトライ「安全ですか!! あなたの自転車」

<雑学アラカルト>

*ぶどう酒の話 <その3> *

今回は製造法について簡単に話をしましょう。

原料のぶどうは、糖度の高いものを用い、漬碎物(マスト)は赤ぶどう酒の場合、果皮と種子の混ざったまま醸酵させるのです。

マストには、有害な細菌類が繁殖するのを防ぐため、亜硫酸ガスを注入し酵母を添加して醸酵させます。

醸造中若いぶどう酒は、おりや酵母等が沈澱する為、おり引きを行います。そして三月から数年寝かせて良いぶどう酒となっていきます。

ぶどう酒を造るには清潔が第一で細菌が付き易いので注意をします。

醸酵が進めば果汁の糖度にもよりますが、14%程のアルコール分となるはずです。

家庭で造るには、梅酒の瓶を用い、マストを醸酵させて三月程置き、瓶詰にしコルク栓をして寝かせて温度を低く一定に保ち、3~6ヶ月で飲める様になる簡易なぶどう酒です。

一乾杯一 但し、酒税法で造る事が禁じられています。

もっと簡易には、焼酎を用い砂糖を少なくて、梅酒と同様に造る事も簡単です。(これも禁止) ぶどう酒と言ってもアルコール分10~23%と巾があり、特に補強ぶどう酒は強いので、飲み過ぎると天井が回る事となりますヨ!!

UCC 水野久夫

「浦和→南郷チャレンジ」

浦和CC恒例の第4回チャレンジサイクリング（浦和→南郷：230km）が去る9月17日（土）開催された。

当日は朝から雨がぱらつき天候は芳しくない。スタートは数人の予定であったが、先発・寝坊組がいて田口氏と私の2人が予定通り5時30分クラブ事務所を出発する。菖蒲を過ぎる頃から雨足が激しくなり中止もやもえないとの声もあったが、天候の回復を念じて走り続ける。

埼玉大橋で神野氏が合流、古河では宮林氏がスパート切れを起こしリタイヤする。鹿沼で郷氏が合流、いよいよ杉並木のだらだら登りに入る。幸い小雨が降っているので涼しく何とか走り抜ける。今市で杉山氏が合流し鬼怒川を目指して走る、多少の下りもあり気分的に楽であった。

竜王峠あたりで雨が上がったが、膝が朝の雨で冷えたのが影響したのか、五十里湖を過ぎる頃から痛みだす。目前には山王峠が立ちはだかっている。既に170km程度走っているのでリタイヤは出来ない。マッサージ液をぬり、喘ぎながらやっとの思いで峠に到着する。

ここから会津田島までは下りと平坦地だ、田島で国道121号と別れる、駒止峠までは約20kmの行程だ。殆ど車が通らない道を駒止峠を目指して走り続ける。結構登りがきつく疲労が困ばいしているので辛い、やとの思いで峠に到着する。最後の小休止をとり、いっきに下る。今までの疲れが吹き飛んでしまうほど軽快だ、速度計は62km/hをさしていた。予定通り17時過ぎ南郷ふるさと家に無事到着する。また一つの挑戦が終った。

渡邊廣次 記（浦和CC）

{るるぶる}

●949（クシュウ）：洋風焼鳥

藍の大皿に鶏大根の煮しめ、肉じゃが、鶏せんべい、ほくほくかぼちやのヨーグルトソースかけなど楽しい酒の肴が並ぶ。大宮市役所通りと中山道を結ぶ小路にある。

Tel. 0486-41-0949

●京園：台湾料理

竹の皮でしっかりと巻いた三角ちまきから特製のチャーシュー、シイタケ、クリ、ナツツが顔をだす。ボリュームあるちまき1個350円、ラーメン400円から。大宮南銀座通り
Tel. 0486-45-1425 日曜定休

【事務局だより】

■事務局要員は次の方です。

11/27 原田知治（10月号訂正）

△編集後記

■自転車愛好家が増加しているに関わらず協会登録や協会行事等の参加者が一向に増えない。協会に魅力がないという声もありいろいろ企画をしてみたが反応はいまいちだ。やはりサイクリストはマイナーの域を脱しえないのでどうか、この考えが変わらない限り協会の発展も有り得ない気がする。